

平成 18 年度 伊丹市行政評価 ～施策評価編～

施策コード	1310	施策名	介護保険制度による介護システムの構築
-------	------	-----	--------------------

「これから5年間のまちづくりプラン」における位置付け	視 点		項 目					
	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現		きめ細かな地域福祉の推進					
評価担当部局名	健康福祉部	関連部局	総合政策部	事業費合計 (百万円)	H17(決算) 7,818	H18(予算) 8,448		
目指すべき目標・状態	少子高齢化に伴って進展する超高齢社会に対応した予防重視型システムへの転換等を図り、高齢者が要介護状態になることを防ぎ、そして住み慣れた地域で尊厳を有し、自立した生活を送れるよう支援するとともに、健康寿命を延ばすことを目標とする。また、サービス給付と保険料徴収とのバランスの取れた事業運営に努める。							
施策を取り巻く環境	現在総人口が減少する中で高齢者人口は、本市においても毎年4%前後増加しており、2015年問題をはじめ今後さらに高齢者が増加し、それに伴って要介護認定者や介護給付費が増加しつづけるものと推測される。							
成果を測定する指標 (上げた方が良い指標の場合「↑」、下げた方が良い指標の場合「↓」を指標名の右側に記載。 H22年度計画値欄は、それ以前に終期を迎えるものはその年度の計画値。)	指標名(単位)		算式等	現状 (H17年度)	H18年度		H22年度	計画達成率 (%)
					計画値	実績値	計画値	
	介護保険給付費(千円)	↓	1年間の介護保険給付費総額	7,393,268	7,986,082	-	9,690,198	-
	要介護認定率(%)	↓	要介護・要支援認定者数/第1号被保険者数(65歳以上)	17.3	17.3	-	16.6	-
	第1号被保険者1人あたりの給付費(千円)	↓	介護保険給付費総額/第1号被保険者数(65歳以上)	230	238	-	251	-
評価結果	19年度から実施します。		評価の判断理由	施策全体の評価については、今年度設定した施策目標・成果指標の達成状況などを実績に基づき総合的に判断して行うこととなります。今年度は、評価実施初年度でそうした実績に基づく評価ができないため、来年度から評価を実施することとしています。				

各指標の目標達成状況

介護保険給付費(千円)

年度	計画 (千円)	実績 (千円)
H17	7,986,082	7,393,268
H18	9,690,198	-
H22	-	-

要介護認定率(%)

年度	計画 (%)	実績 (%)
H17	17.3	17.3
H18	16.6	-
H21	-	-
H22	-	-

第1号被保険者1人あたりの給付費(千円)

年度	計画 (千円)	実績 (千円)
H17	238	230
H18	251	-
H22	-	-

[illegible]

事務事業名に【新規】の表記がある事業はH18年度開始事業、【未実施】の表記がある事業はH19年度以降に開始予定の事業です。